

A科一回生たより

卒業して七十年

平成二十八年は

医者との戦いに終始する

宮崎 甲斐 常興

数年前、投薬の問題で主治医を切った。被爆者健康診断で質問した「先生は血圧が百四十代で薬を飲みますか、私は飲みません」と、だから私は主治医を切ったと返答した。

二十七年末に新たに主治医を決めて頂いたが検査、検査で二十八年春にやっと「肺不全と白血球減少症（以前から被爆精密検査で確定しており、長崎の被爆医者永井博士と同じ病名で、因果関係が明瞭でないという事で原爆症の指定になっていない）の診断となった」肺不全と白血球減少症には治療薬は無く現状を維持する事が最大の課題であるが、医者はその問題に触れずに、気管支拡張薬を勧め

る。医者はどの薬にも白血球減少症の副作用はあるとし、私は副作用の件で反対し数カ月も激論を戦わせた。

ついに主治医を切る積りで、もう一度副作用の調査をするよう要請しその結果「よい勉強をさせて頂きましたと頭を下げられ」かえって恐縮しました。被爆関係のことが分からないのは無理も無い事と思っています。

薬が的確であるか、どんな副作用が有るかなどは医者任せでなく自分が管理しないと自らの命を縮める結果になりはしないのか。

規定の字数を越えていますので、ここで止め次回を楽しみにします。

各同窓のご健康とご多幸を祈っております。

京都繊維専門学校
A科1回生
昭和22年3月卒業
平成29年2月吉日発行



新春の思い

岡崎 大島 宏作

○ 卒寿となれども、「老木の柀」には程遠い。刺を丸めよ。

○ 家内のMCI光明の兆。夕食後の後始末再開が見られる。（時には途中放棄あるが）

○ 家内の身の廻り世話は無。介護とは言い難し。独身生活者で二人前準備するのみ。（しかし、二・三日毎の調達負担大きい）

○ 自動車免許。本年一杯はOK。高齢者の事故多く、免許返納思案中。視力の点より再更新難しい。本年よりはタクシーか？

○ MCIの光明は一泊旅行にあるやも？春になれば運行距離短縮の伊勢湾へリ利用―志摩半島旅行を考えている。（家内気分転換）

○ 何よりも大切な事は、我が身の健康管理。先逝する訳には参らず。MCI老婆の面倒みる者無し。路傍に迷う必定。

○ 皆様の良き年を願う。



つばやき

つれづれなるままにと言うほどの文才も無し。毎日の出来事など書いて責を免れたいと思えます。

週に三日は透析に通います。朝八時前に迎えるのタクシーで病院へ、午後二時前後に帰宅。その日は、それで終わりです。帰ってからはテレビの前で横になつたり寝たり起きたり。透析の無い日は少しでも身体を動かそうと畑の草取りしたりパンジーの水やりなどしています。腰が五分と続きません。勿論、腰かけて草取りや耕すなどしていません。

手足は十分動きませんが頭で色々考える事は出来ません。終活の事等考えてと思いがら面倒な事はどうでもよいとなつてしまふ。

株などトランプ相場で処分しようと思つているが、配当金が病院通いの交通費と孫の小遣いなどに消える。

年寄りのつまらない（つばやき）と聞き流してください。皆さん、お元気で長生きしてください。

九十歳のひとこと、ふたこと

京都・城陽 山本 孝

本年、元旦の朝日新聞のトップ見出しが、「民主主義の試練」と出た。異例である。トランプ氏の米国大統領出現で、民主主義危うしと、日本を代表する新聞が警鐘をならしたのである。

新聞・テレビ等の報道によれば、トランプ氏のツイッターに右往左往する日本の政権、情けない。節分の豆を撒いて腰を据えて欲しい。トランプ氏の米国ファーストの保護主義は経済の原理に反するので一時好調化しても、不調に陥ると経済専門家は言う。

福祉に関わつて

大阪 茨木 西田 治

立春とは名ばかりの寒い日が続きます。皆様には、いかがお暮らですか。お尋ね致します。

筆不精で失礼致しております。福祉法人の仕事から解放されて、一息ついているところです。

今後は、お世話になる側になるかも知れませんが、現在は順調で、気ままな生活を送っています。

時々、舞い込んでくる相談が程良い刺激となつています。

高齢者福祉への相談や要望を実感しながら、福祉の現場の職員の方々と共に考えるのを楽しみにしています。

厳しい寒さの中、くれぐれも皆様のご自愛を念じております。

ただ、相手方を脅かすのと分かり易い言葉で、国民の低収入の層の不満を吸収して事を進めるトランプ氏の術は強か者で侮れない。貧富の格差は、移民のせいではなく、企業・富裕層の取り過ぎにあるのだが。

十年前、ノーベル賞を貰ったアメリカの経済学者が「格差はウォール街が経済を握っている間は無くならない」と言っている。

これを修正していくのが、政治なのだが。トランプ氏の無茶で、「リーマンショック」級の経済ショック有りかもとの予言もある。

、私共の年金資金を米国の雇用に使われて、事業破産で、年金生活者が路頭に迷わされることだけは勘弁してほしい。

九十歳になつても心配の種は尽きない。



福田 敏成



A科一回生たより

卒業して七十年

京都繊維専門学校
A科一回生
昭和22年3月卒業
平成29年2月吉日発行

百歳目指して

京都 舞鶴 齋藤 忠



検眼登録運動

中山 正昭

昨年は大災害の多い年でしたが皆様には異変はなかったでしょうか。脊椎管狭窄の手術をして三年になりますが、中々元の様な身体には戻りません。しかし、毎日リハビリを続けております。

さて、私、現在も日本アイバンク推進協議会のお世話している関係で今年（平成二十八年）聴社市より四名の眼球提供者が発生したため、八名の方に角膜移植手術が出来るようにお手伝いをし開眼することが出来ました。一人一人しかり移植することができません。（角膜提供者が少ないため）そのため献眼登録運動をやり献眼に繋げるべく広報活動をしております。眼球摘出も現在は角膜だけ採取出来る器具（マイクログレイトロン）が出来て、摘出なく採取できますが、中々提供者が増えません。現在でも、角膜移植希望者が日本で二九〇〇人も待つております。

さて、昨年の二月たよりによれば、斎藤兄は目の病とか。大変な様子。頑張つて一日も早くなれることを願つております。皆様も、今後とも身体に気を付けて、お互いに元気になるように頑張りましょう。



A科一回生の諸兄、如何お過ごしですか。指折り数えて見れば、お互い人生八十年代を生き抜き、九十歳台になったことに驚きを感じる昨今です。既に多くの友を失ってしまいましたが、新たな目標を百歳に置いて励まし合い、支え合つて頑張りたいと思ひます。

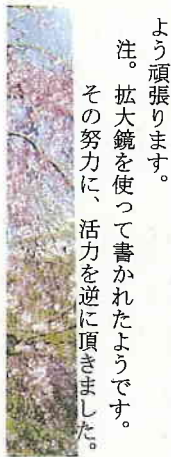
しかし、肉体の諸機能はポンコツ前の状態に有り、何時機能不全に陥るかも知れぬ状況にあります。私自身も身体健康については自信を持つていたのに米寿の目出度あるべき年に目を患い現在は隻眼の生活を送つています。病の宣告を受けてから考え続けた事は、「我が命は、自らが切り開いていくべきものであり、他人様に生きさせて頂くものではない」そのため、我が肉体の衰えは、自分の努力で回復させることが必要ではないか。

- 早速、一日一時間のウォーキング。
- 雨の日は家の中の廊下を歩き廻る。
- 起床と同時に柔軟体操。
- 入学と同時に入室させられた寮生活での朝の「乾布摩擦を行う」
- 食生活の改善（減塩、減甘味料）

※諸兄の健康法があれば教えてください。

今回の原稿は、病氣報告に終始しましたが、次回には「命を輝かす」明るい報告が出来るよう頑張ります。

注。拡大鏡を使って書かれたようです。その努力に、活力を逆に頂きました。



鯖江 荻野常雄

拝啓 この毎日のように締切が迫るのに今日までになりました事をお詫びし申し訳無くお許しください。

今冬は北陸でも雪が少なく降らぬかと思つていましたが、昨夜から雪が降り今朝は三十センチほど積り寒さもひと入強く今後のが心配です。

私の家庭も大内家で私達老夫婦と息子夫婦と孫夫婦曾孫二人、孫の一人と計九人が同居し、毎日賑やかに生活しています。

私も今年の三月末で九十一歳に達し、知らず知らずの内にこの年齢に達し、今日を迎えた事は、子ども達、周囲の皆さん、世の中の方々の支えを頂き、又、動物達、あらゆる植物の命を頂き毎日を送らせて戴いている事を感じながら、食事を戴いています。

九十年の長い年月を振り返ります時、思ひ起こす事は一つも無く忘れ去られています。然しながら今は、今までに受けたあらゆるご恩を又、今後も受ける御恩に感謝し生活して行きたいと思ひます。

死ぬまでが人生です。健康で有り続けるよう身体を維持し今後、少ない人生を生き続け行くようにしたいと願つています。

私には、春が来て暖かい頃になると梅木の剪定、春野菜の種まき、ジャガイモの植付け等が待つています。

先ずは、身体に気を付け皆様に感謝しながら生活したいと思つております。希望は小さくとも生かされていく人生を送りたいとおもつています。

私は持つペンをモンキドライバー、鋏、鎌、トラクターに代えた人生を送ってきました。今後も、皆様の御助けを受けながらあらゆる生物の命を頂き、それに感謝した日々を送りたいとおもつています。

今、私の家に古くから伝わる古い額があります。それを紹介して今日の便りと致します。



近況報告

兵庫 篠山 酒井辰夫

卒業して七十年の節目を迎えました。この間皆様には色々とお世話になり有難うございました。

さて、私ですが、昨年度の暮らしを漢字一字で示せば、「病」が該当致します。二月に脳梗塞で入院。左手足に痺れを残しています。安静とリハビリの日々を送つていたのですが、十二月になり少し家の周囲を片付けていたのが原因で、腰部脊椎管狭窄症で腰から左足に痛みが走り又、入院。痛みは残つていますが病院が正月休みになり退院しております。

今年、もう少し明るい漢字になるよう努力したいと考えております。

A科一回生の皆様、どうかお体を大切に暮らしてください。

ここに座右銘

- 一、 今日一日、三つの恩を忘れず
- 一、 不足の思いを為さぬこと
- 一、 今日一日、腹を立てぬこと
- 一、 今日一日、嘘を言わず無理を為ぬこと
- 一、 今日一日、人の悪口を言わず
- 一、 己の善を云わぬこと
- 一、 今日一日、存名（命）を喜び稼業を大切に励むべきこと
- 一、 右は今日一日の慎にて候

とあります。お気に召したら参考にしてください。

